

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~Kaiho journal~

第284号

発行日 2025年8月1日発行

企業訪問 ~人の森 株式会社 様~

皆さんこんにちは、社長の近藤です。人の森さまは、採石事業・骨材の生産・販売やフィットネス事業を手掛けられ、当社とは「青年塾」のつながりでお付き合いがあります。加藤社長の素晴らしい経営理念、組織づくりを学ばせていただくために、加藤社長と面談、そしてオフィス・採石工場・フィットネスセンターを視察させて頂きました。

ご案内頂いた社員の皆さまのご対応も大変素晴らしく、人の森さまのスローガンにある「地球に調和を。社会に豊かさを。人々に幸せを。」を体現されていたりしました。オフィスの食堂でランチを頂きましたが、地元の美味しい食材をふんだんに使用され、おしぼりにも手書きの絵・メッセージがありとても感動しました。

採石工場では、私たちの暮らしを支える社会インフラの原料製造の現場を視察させて頂きました。採石後の山・自然を再生させ動植物を育てていくための森づくりには、数十年もの時間を要する大変な事業であることも初めて知りました。人の森さまの華厳工場は50年以上をかけて、地球と共存する採石工場のモデルを創り上げていらっしゃいました。

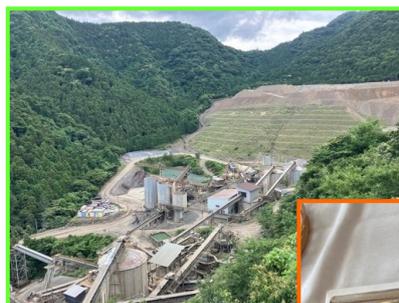
そして、フィットネスセンターも視察させていただきました。従来のジムやスパ施設とは異なり、地

域の皆さまが運動をする場所だけではなく、人々が集うコミュニティの場として、様々な工夫をされていました。

ハードな運動ではなく、体育館で家族や友達と卓球をしたり、温泉に入りきたり、プールでウォーキングをしたり、健康な生活を送り続けるためのきっかけを提供されていました。

多くのジムは、事業拡大で会員数を増やすことを目的にしますが、人の森様は、いかに会員様の満足度を上げていくかを考え常に進化し続けていらっしゃいます。

多角的に事業を展開される中で、従業員の皆さまに企業の「DNA」が浸透されており、当社はまだまだ及びませんが、加藤社長の経営理念や社員の皆様のお考え方・立ち振る舞いから、見習いたいことがたくさんあり、とても学びの多い視察でした。



キラリと光る存在に

●今月の出番●
国際営業部
メルヒニオ ニカさん



皆様、こんにちは。メルヒニオ ニカと申します。日本とフィリピンのハーフで、今年5月に正社員になりました。

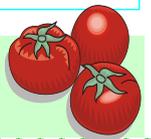
日本の小学校を卒業後、英語を学ぶためにフィリピンの高校・大学を卒業し、日本では国際ビジネスと通訳の専門学校に通いました。日本とフィリピンを行き来していたため、どちらの文化が強いかは正直分かりませんが、二つの国を母国と呼べることに感謝しています。

会宝産業では、語学力や国際経験を活かせるだけでなく、好きな車に関われることがとても嬉しいです。日本や海外で活躍している車について知れることが楽しく、日々やりがいを感じています。車に興味を持ったのはフィリピンのおじさんの影響ですが、今では私の方が詳しくなり、電話でエンジンやパーツの話を自慢げにしています。とはいえ、それはすべて先輩方から教えていただいた知識なんですけどね（笑）。

趣味はバスケットボール観戦と読書、そしてフィリピンでは大型バイクでツーリングもしていました。日本でもいつか乗るのが目標です。



農業の取り組み ～農業事業部より～



皆様こんにちは。本格的な夏到来！6月まで幾分涼しかった気候が一変、7月は例年通りかそれ以上の暑い日が続きました。私たちもですが、皆様方も体調を崩されませんようにお気を付けてください。

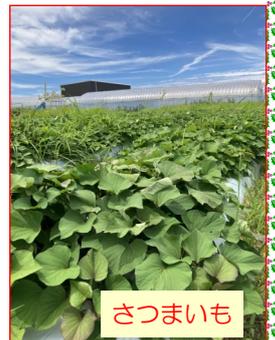
7月はトマトの栽培も終盤となり、最後まで収穫ができるように注意を払いながら管理を続けて、また秋野菜の管理、7月から植える野菜の準備も進めてきました。暑いからと言ってすべきことが変わらないのが農業であり、仕事です。トマトも暑い中頑張ってお実をつけているので、私たちも負けじと自分の体調管理に気を付けながら各野菜の栽培管理に従事しました。

7月は会社からのお中元に農業事業部の野菜セットを選んでいただきました。お世話になった方々へ現在出荷できるものでトマト・玉ねぎ白と紫、ニンニク、ジャガイモを送らせていただきました。化学肥料不使用・栽培期間中農薬不使用の安心安全な野菜を皆様方に喜んでいただけたなら幸いです。

トマトは7月末で栽培を終了する予定ですが、それからは次作のトマト栽培のためのリセット作業や定植準備を9月下旬までにしなければいけません。何事も計画的に的確に進めていけるように、仲間たちと協力して目標に向かって進んでいきます。

(担当：畠中)

会宝農園の野菜はこちらのサイトからご購入いただけます。
ぜひご覧ください。



さつまいも



里芋



お中元

社員海外レポート



ナマステ！インドAKKの宮川です。2025年、ついにインドが名目GDPで日本を抜き、世界第4位の経済大国となりました。IMFによると、インドのGDPは約4兆1,870億ドル、日本は約4兆1,860億ドルと僅差での逆転です。経済成長率6%超を維持するインドは、2028年には世界第3位も視野に入れていると報じられています。恐るべし、インド。日々インドで生活し、現地企業や市場と関わる中で感じるのは、経済の力強さだけでなく、エネルギッシュな人々の勢いです。

一方で、インフラの未整備や格差、制度の不安定さもまだまだ多く、数字だけでは見えない課題もあります。この大きな節目の中で、日本人として「インドとどう関わるか」をいつも考えさせられます。駐在員として、成長市場の最前線で何を学び、どう日本に還元できるかを問われていると実感する日々です。

インドは米国を抜き、世界第2位の経済大国へ

＜世界のGDP（購買力平価ベース）ランキング＞
2030年と2050年

順位	2030年（予想）	順位	2050年（予想）
1	中国	1	中国
2	米国	2	インド
3	インド	3	米国
4	日本	4	インドネシア
5	インドネシア	5	ブラジル
6	ロシア	6	ロシア
7	ドイツ	7	メキシコ
8	ブラジル	8	日本
9	メキシコ	9	ドイツ
10	英国	10	英国

（注） 予想はPwCによるもの。

（出所） PwCのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今月のパチリ



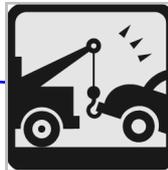
こんにちは。当社では2023年から毎年、大学生向けの長期インターンシップ「次世代型インターンシップ」を実施しています。今年も地元の大学生5名が参加し、3つのチームに分かれてそれぞれのテーマに取り組みました。その中で注目されたのが、金沢大学の学生2名によるチームの提案です。彼らは、「海外人材の労働環境改善」と「地方・自動車リサイクル業界の労働力不足解決」というテーマに挑戦。当社の強みを活かした外国人材の受け入れ方について提案をしてくれました。さらに、入社後に日本人社員と外国人社員がお互いを深く理解するためのコミュニケーションワークショップも提案。このアイデアが素晴らしかったので、早速社内でも実践しました。

ワークショップは「自分自身を理解し、そして仲間の価値観を知る」ことを目的に行ったのですが、国籍に関わらず、同僚とのコミュニケーションのきっかけを作る貴重な場となりました。実際に参加してみると、共に働く同僚について初めて知ることが多く、とても学びの多い時間となりました。

このワークショップを通じて、社員間の絆がさらに深まり、より働きやすい職場環境づくりにつながることを期待しています。（担当：川村）



相場情報 ~生産部より~



2025年7月 見込み台数
 入庫台数 800台
 処理台数 750台

こんにちは、会宝産業の山口です。梅雨入りと梅雨明けがいまいち分からない7月でしたね。毎年何かしら環境の変化を感じる事が起きるようになってきたように感じます。

さて、相場はというと・・・鉄に関しては相変わらずですが、夏の炉休で減産+値下げですが、発生も少なく、思ったよりも価格は落ちていないような印象です。では銅は？アルミは？となりますが、需要も少なく発生も少ない・・・まさに鉄と同じく全く同じ要因で平行線なのです。地下資源は掘っている以上必ず枯渇の方向に向かっていきます。しかしながら単価が変わっていかない中、スクラップの歩留まりやグレードを上げていく事も考えていかなければいけませんね。



今月のピックアップ ~ツエーゲン金沢 スポンサー応援うちわ~

当社がツエーゲン金沢のスポンサーになったのが、2011年。あれからあっという間に13年の月日が過ぎました。当時はスポンサー企業に与えられる優待チケットがシーズンが終わっても余っていることがありましたが、数年前からは、シーズン終盤前にはチケットがなくなってしまう現状です。それだけ、社内にもツエーゲンサポーターが増えたということです。これは、担当者として嬉しい限りです。

そんな13年の間に、JFLからJ3へ昇格、そしてJ3の初代チャンピオンとしてJ2へ昇格、その後残念ながらJ3へ降格という様々な出来事を共に体験させていただきました。そして今シーズンはチーム史上初のシーズン中での監督交代。勝負の世界では様々なことが起こりますが、どんな時でもチームに寄り添い、表現方法は様々なものがあったとしても、根底には「チーム愛」があることが大切だと感じています。当たり前ですが、辻田新監督も全力で応援しています！

写真は当社のスポンサー応援うちわで、試合会場で配られています。応援しながら「あの選手はどんな顔なんだろう？」と疑問に思った時に、ぜひお使いください。（担当：佐藤）



会宝産業
Homepage



車買取
Homepage



会宝産業
note公式
(毎週木曜日更新)



会宝産業
X (旧Twitter)



会宝産業
Facebook



車買取
Facebook



会宝産業
Instagram



会宝キッチン
Instagram

